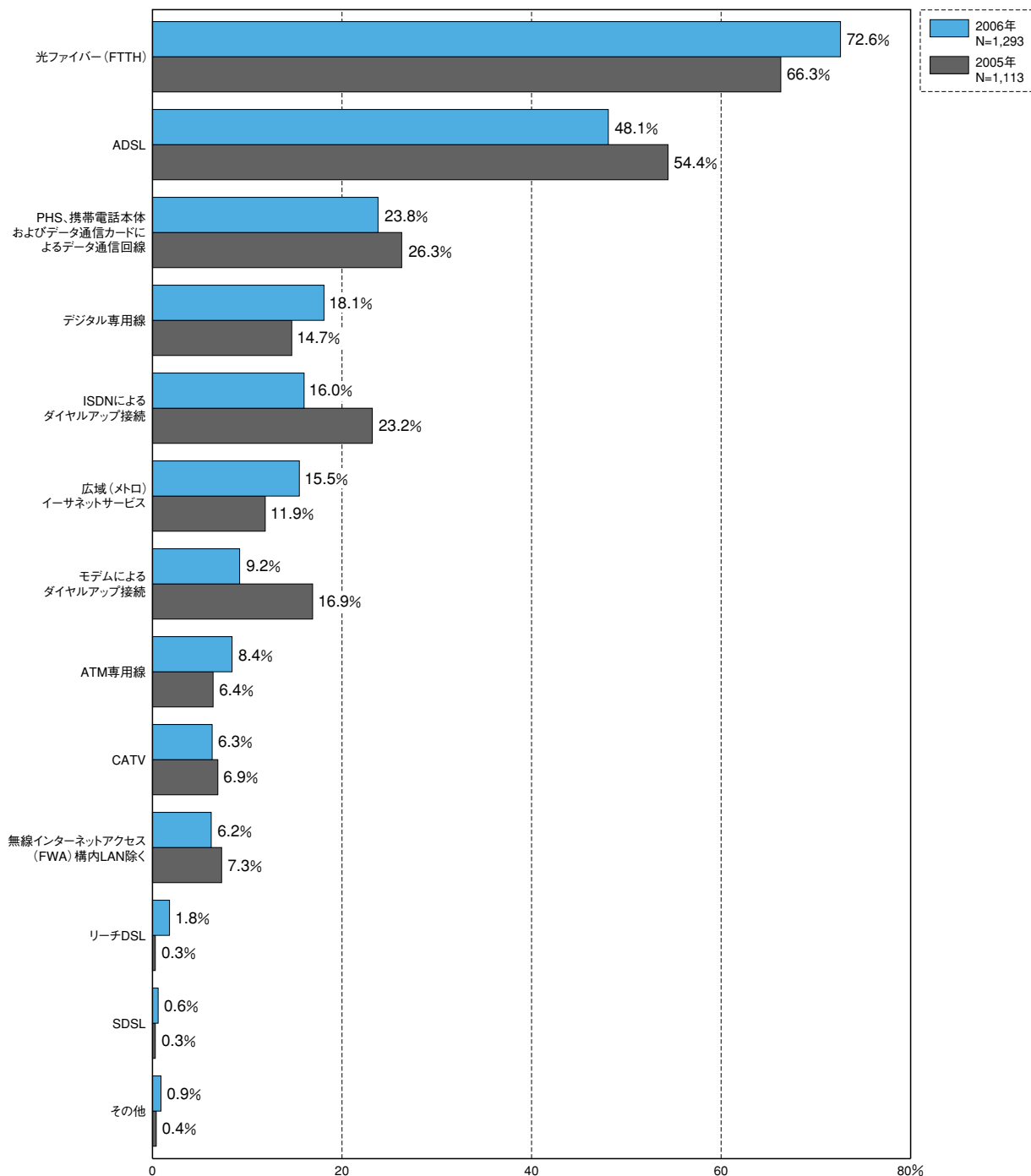


## 通信回線

## 「光ファイバー（FTTH）」が72.6%で主流に

資料3-1-1 インターネット接続に使っているすべての通信回線（複数回答）[2005年-2006年]



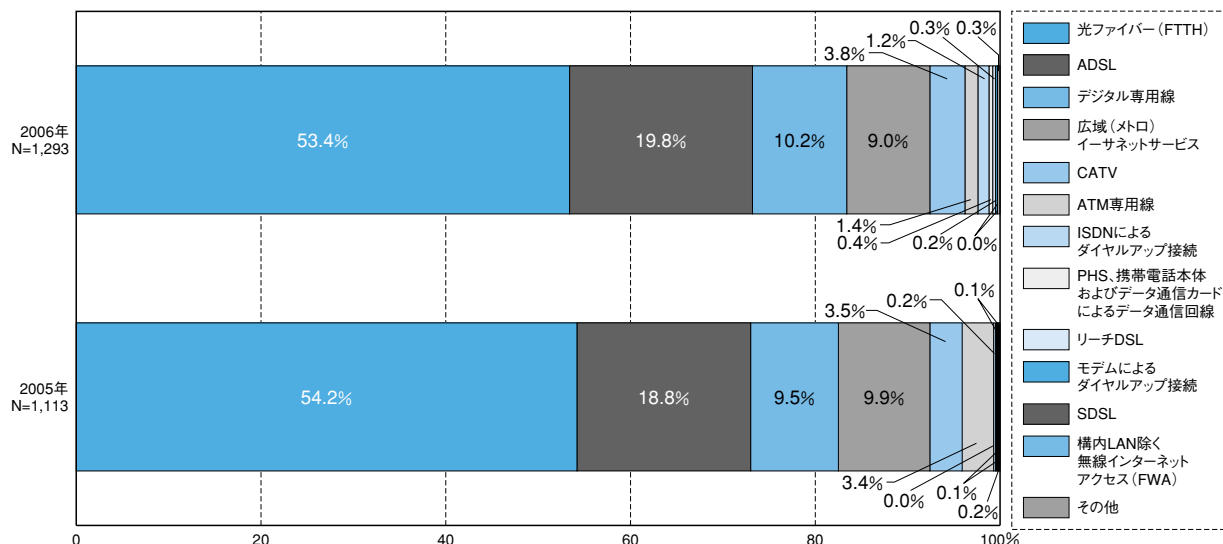
©Access Media/impress R&amp;D,2006

インターネット利用企業 1,293 サンプルの利用通信回線は、「光ファイバー（FTTH）」が2005年より増加し上位につけている。一方「ADSL」は半数を割り、ISDNやモデムの「ダイヤルアップ接続」と共に比率を落としている。一方、「デジタル専用線」、「広域（メトロ）イーサネットサービス」は着実に増加している。

通信回線

光ファイバー導入率は過半数超えの53.4%、ADSLは約2割

資料3-1-2 インターネット接続に使っている主な通信回線 [2005年-2006年]

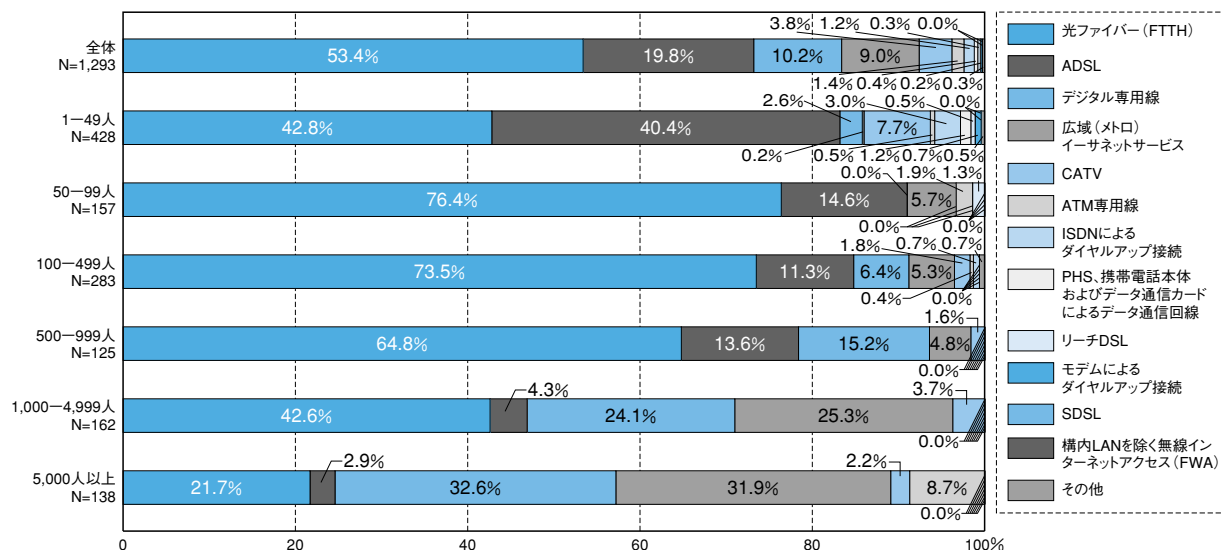


©Access Media/impress R&D,2006

インターネット利用企業の主な通信回線を時系列で比較したものである。2005年とほぼ同様の結果で、「光ファイバー (FTTH)」は過半数を維持しており、次いで「ADSL」が2割、「デジタル専用線」、「広域 (メトロ) イーサネットサービス」と続く。

大規模以上は広域メトロ、小規模はADSLと光が拮抗

資料3-1-3 インターネット接続に使っている主な通信回線 [全体と従業員規模別]



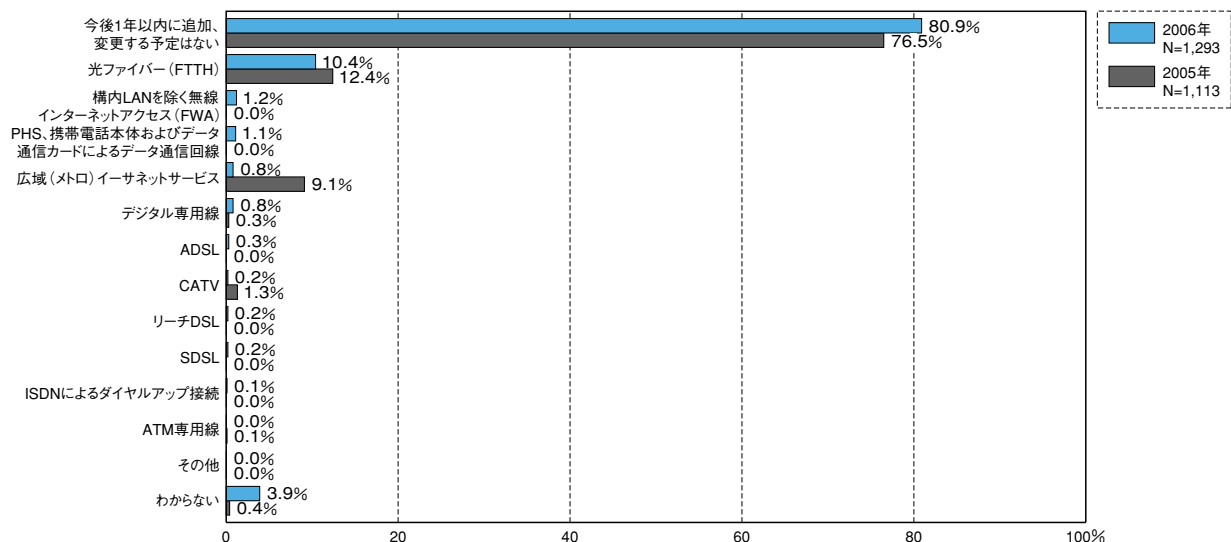
©Access Media/impress R&D,2006

従業員規模別で見た導入状況では、「光ファイバー (FTTH)」導入の中心は、50人以上999人以下の中規模以上の企業である。また500人以上を境に「デジタル専用線」の導入が増加し、1,000人以上では、「メトロ (広域)イーサネットサービス」へシフトする。一方、小規模では、ADSLと光ファイバーが拮抗している。

通信回線

80.9%が通信回線の現状維持を志向

資料3-1-4 今後1年以内に採用したい通信回線（単一回答）[2005年－2006年]

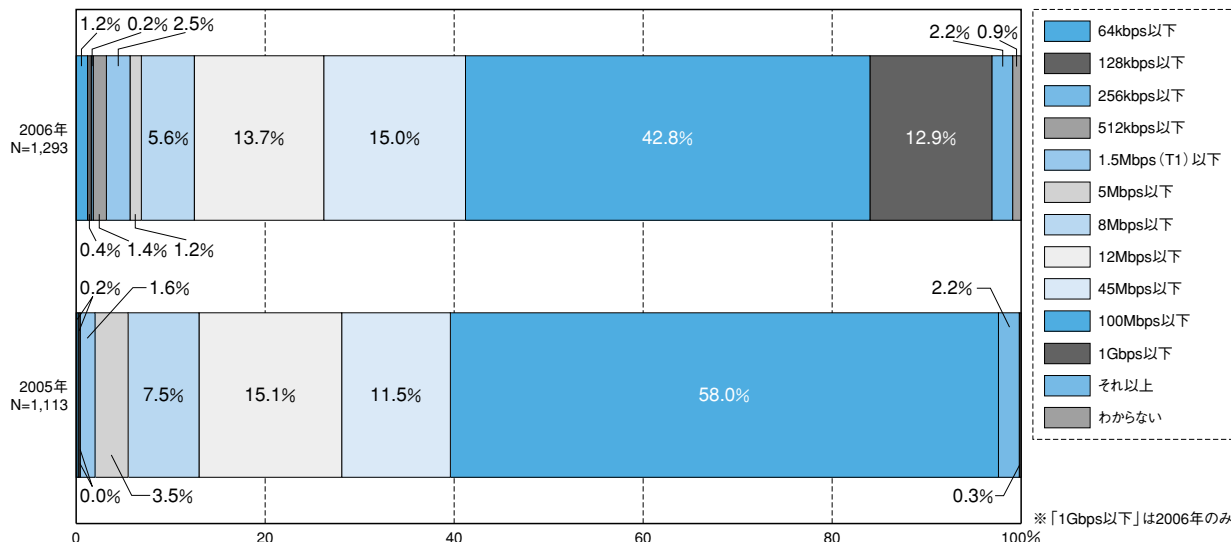


©Access Media/impress R&D,2006

今後1年以内の通信回線の採用予定について聞いた結果、現状のメイン回線を「追加、変更する予定はない」が8割を占め、現状の通信環境を維持していくと思われる。前年と比較すると、「広域（メトロ）イーサネットサービス」への利用意向が、光（FTTH）同様見られたが、今年は特にない。

最も多いのは「100Mbps以下」の42.8%。「1Gbps以下」も12.9%に

資料3-1-5 インターネット接続回線における最大通信速度 [2005年－2006年]



※「1Gbps以下」は2006年のみ

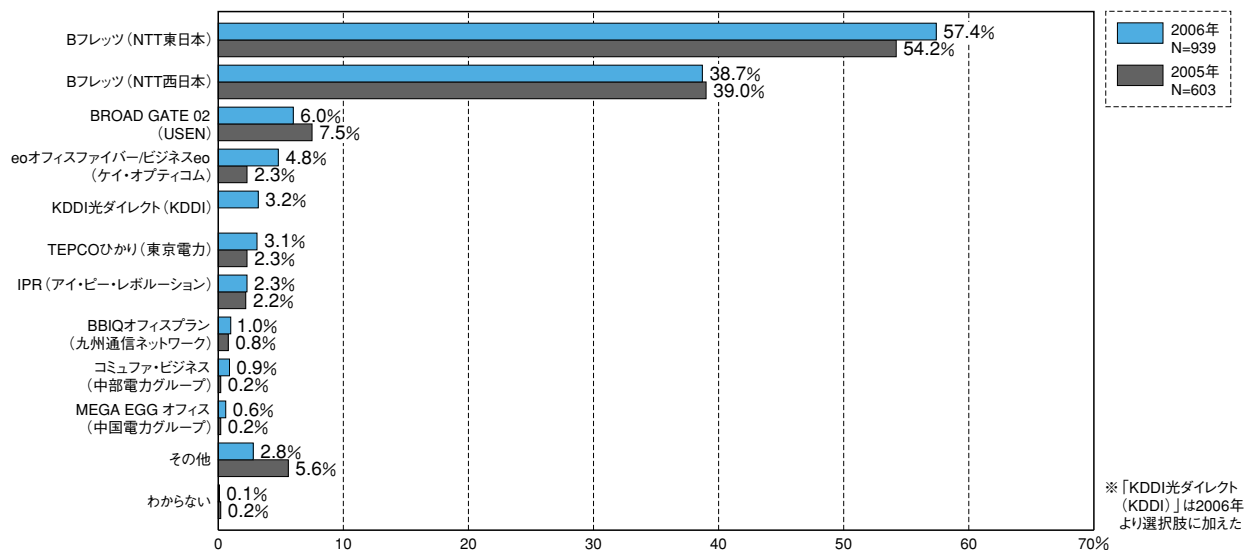
©Access Media/impress R&D,2006

インターネット利用企業の最大通信速度は、「100Mbps以下」が最も多く42.8%である。今年から加えた「1Gbps以下」も12.9%を占めている。光ファイバー（FTTH）を中心に、広域（メトロ）イーサネットやデジタル専用線などの導入企業が増えたこともあり、通信速度は2005年と比較すると12Mbps以上が微増している。

通信回線

### 3年連続トップを走るNTT東西の「Bフレッツ」

資料3-1-6 契約している光回線提供会社（複数回答）[2005年－2006年]

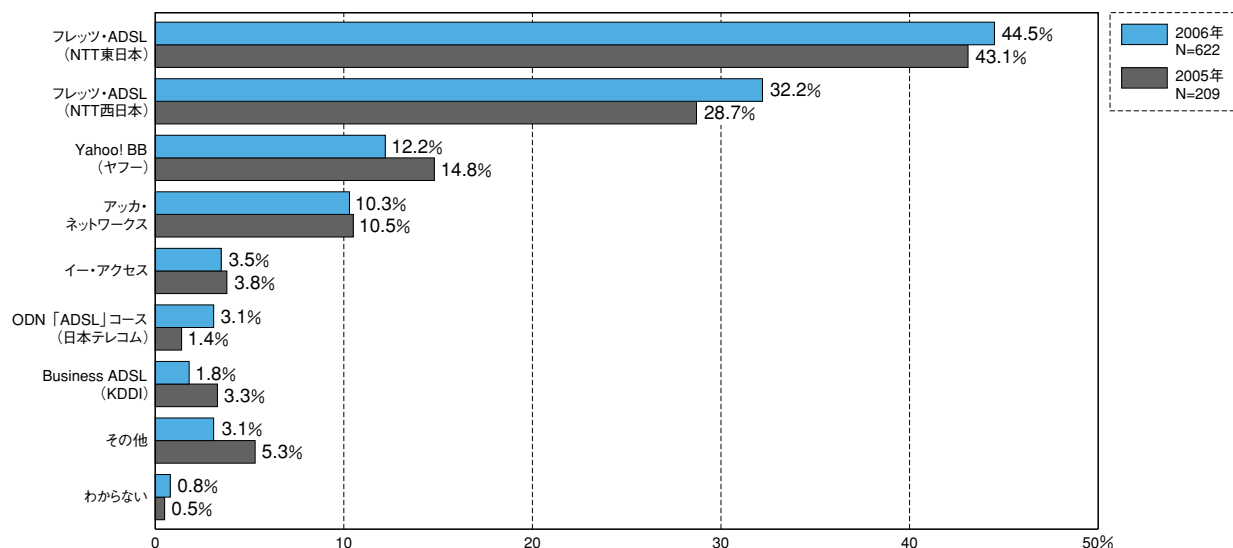


©Access Media/impress R&D,2006

光ファイバー利用企業939サンプルの契約している光回線提供会社は、「Bフレッツ」が大多数を占める。本調査の回答者の勤務先地は、40%以上が関東圏であることなどが回線提供者の導入比率に大きく影響している。なお、近畿地方は、約2割強である。2005年と比較してもBフレッツの導入状況は、同様に高い。

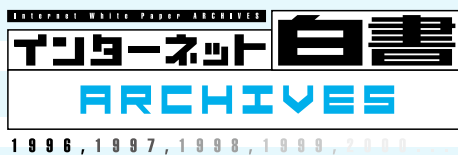
### 「フレッツ・ADSL」の寡占状態続く。中小では「Yahoo! BB」も

資料3-1-7 契約しているADSL提供会社（複数回答）[2005年－2006年]



©Access Media/impress R&D,2006

ADSL利用企業622サンプルの契約している提供会社は、光提供会社と同様NTTが強く、「フレッツ・ADSL」で75%を占める。この傾向は2005年と同様である。従業員規模別でみると、「Yahoo! BB」は99人以下の中小企業の契約率が高く、一方、「フレッツ・ADSL」では100人以上の中・大規模企業の契約率が高い。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)